

長野県労働組合連合会（県労連）

長野市県町593 Rinks593 TEL026-217-9071 Fax026-217-9073

✉ krn@mx2.avis.ne.jp http://kenrouren.assrv.com/



全国一律最低賃金1500円 今すぐに！長野労働局へ要請

7月17日（木）労働局へ「最賃要請」

長野県最賃署名「13,805筆」を提出（昨年を上回る）

長野県労連は、7月17日に長野労働局へ「最賃要請」を行いました。冒頭のあいさつで細尾議長は、24春闘では31年ぶり平均1.6万円、などと景気のいい数字がメディアを賑わす一方で、非正規、中小企業には波及していない現状を訴えました。物価高騰を乗り越えるため、また人口流出を食い止め、地域経済を活性化させるための方策として、最低賃金を全国一律1,500円以上とすることを求めました。

参加者 細尾 議長、齊京副議長、茂原事務局長、唐澤事務局次長、岩谷事務局次長
八重田幹事、本間幹事、甘田幹事

要請では、茂原事務局長は、3ランク制になったのに格差が拡大したことについての認識をただしました。

本間幹事（自治労連）は、最賃審で使われている「生計費」について、母数が少なく毎年金額が大幅に変わる問題点を指摘。

齊京副議長（JMITU）は、最賃の低さが賃金相場、特に再雇用の賃金の足を引っ張っていると実態を訴えました。

甘田幹事（コプネットG労組）からは、審議会での意見陳述の実施を要請しました。

長野地方最賃審は、7月3日に始まり、8月5日に「答申」予定です。県労連は7月29日の審議会に傍聴を組織し、運営規定（原則5名以内）を超える8人が傍聴しました。8月5日の答申にも傍聴を組織し、終了後（16：15頃から30分程度）に長野駅前宣伝行動を予定しています。

○要請内容（要旨）

- ・最賃地域格差の是正
- ・長野県の最低賃金1,500円以上へ引き上げ
- ・中小企業、小規模事業所へ支援強化
- ・審議会での意見陳述
- ・最賃審議委員の公正任命

長野県 非正規労働黒書2024



県労連で昨年から作成している「非正規労働黒書」を今年も作成し、労働局要請で甘田幹事からパート臨時連絡会を代表して提出しました。

昨年は124件でしたが、今年は361件の回答がありました。ご協力いただき、ありがとうございました。

収入が増えているのに物価高騰により生活が苦しくなったとの回答が多くあり、昨年の最賃改定額が不十分であったことを表しています。

賃金の底上げや格差是正が進まないところに物価高騰が追い打ちをかけ、非正規労働者の生活は、将来の備えどころか、入院や子の進学、定年再雇用といった収支の変化に対応できない状況にまで悪化しています。大勢の皆さんの悲鳴にも似た切実な訴えが多く、今後はパート臨時連絡会でも対応を検討していきます。

ちょっと待った！マイナ保険証 現行の保険証存続を求める 県民集会

7月21日（日）長野市のJA長野県ビルにてオンライン併用で「現行の保険証存続を求める県民集会」が開催されました。会場には90名、オンライン接続70と多くの参加がありました。

講師の萩原博子さんは会場で「マイナ保険証の罣」と題して講演して頂きました。マイナ保険証の危険性や不便さを指摘し、現行の保険証を使い続けることが出来る選択肢を残すべきだと訴えました。

医療機関の立場からの発言では、保険証廃止後に窓口での資格確認方法が複数併在することになること、受診者自身にも資格証明に負担がかかるなど、窓口での業務が混乱する懸念が報告されました。また、地方の開業医など、システムの導入や維持のため高額の費用が掛かることから、廃業する医療機関が増えていることも訴えられました。

弁護士の立場からの発言では、現行の保険証の仕組みを変えることは、「医療へのアクセス権」という基本的人権にかかわる重大な問題と指摘されました。

集会のまとめとして、地域医療を全く考えていない政府の方針を批判し、現行の保険証の存続を求め、国会請願署名や市町村議会への陳情・請願行動、学習をすすめて「保険証をなくさないで！」の声を広げていくことを、参加者全体で確認しました。



講演される 萩原博子さん



萩原博子さん（前列右から3人目）も一緒に会場参加者でアピール

夏のきずな村開催 物価高で生活の不安増大

県労連も実行委員として参加するきずな村が、7月20日（土）にJA長野県ビル前と長野市中部公民館で行われました。当初、雨が心配されましたが、開始時刻の10時前には雨もやみ、前日までの気温より少し低くなるくらいで、天候にも恵まれました。

今年は能登半島地震への支援やお米の値段が上がるなどの状況があり、食糧支援や生活物資の支援に、開始前から多くのみなさんが集まりました。生活物資受け取りの導線に相談会場があったことで、ちょっと相談してみよう、と気軽に相談される様子も見られました。

コロナ禍で中止していた交流も、今年の冬のきずな村から復活し、今回は冷たい飲み物を提供しました。甘い飲み物が好評で、ポップコーンも喜ばれていました。交流場所で会った知人の方とお話はずんだり、実行委員と交流が深まる場面もありました。物価高で厳しい生活のことや、学校給食無償化をぜひ実現してほしい、など、さまざまな実態をお聞きしました。給食費無償化については、長野市でも署名活動の取り組みがすすんでいます。各地で取り組まれている署名にも注目してください。

次回は12月に行なわれます。食料や生活物資を提供いただける方は、ぜひご協力をお願いします。



ジェンダー平等推進で組織の活性化を

長野労連主催「ハラスメント学習会」



長野労連は7月11日（木）にハラスメント学習会を行いました。全労連女性部で行なった学習企画の講師（一般社団法人ちゃぶ台返し女子アクションの中村果南子さん）を紹介し、ジェンダー平等委員会として要請も発出し、広く呼びかけました。当日は会場15名、オンラインは44名と多くの参加がありました。ジェンダー平等委員会の大矢委員長より感想を寄せられました。

5月に全労連女性部で行われた今回の講師中村さんの学習会に参加した仲間からの報告で、「とても勉強になったよ。参加して本当に良かった。」とお聞きしていました。この機会を逃すのはもったいないと思い、参加させていただきました。

今回の学習会は「日常にある性暴力を防ぐための避難訓練」との説明が講師よりありました。その後ピザを注文することを想定して小グループで話合います。「サイズはどうする？生地タイプは？」など、すべて相談が必要で、相手もしくは仲間同士で同意を得るという作業が必要であることの確認です。これは人間関係作りにおいて最低限必要なことです。

しかし人間関係においては、暴力や性暴力、ハラスメントなど困ったことが起きてしまうことがあります。その場に居合わせたり、後から相談を受けたりしたときに、どうしたらいいのか、“直接介入”だけでなく、“気をそらす”“適切に介入できる別の人に委任する”“記録する”“被害にあった人に事後に声をかけたりフォローアップする”といった5つの介入方法があるそうです。

4つのシナリオが提示され、グループで介入方法を考え、ロールプレイも行いました。介入方法についていくつかのグループで発表もされましたが、様々な介入方法があり大変勉強になりました。答えは一つではないことがわかります。

冒頭に説明された「避難訓練」という言葉に合点がいききました。性暴力だけではなく、その他の様々なハラスメントへの避難訓練でした。

まずはこれは？と感じる場面に出くわしたときに、見えないふり、聞こえないふりでなくきちんと対応ができる人間にならねば、と決意をあらたにしました。



長野労連の皆さんには貴重な学習会を企画し、声をかけていただき感謝しております。ありがとうございました

日本平和委員会連続講座 ジェンダー平等と平和

日本平和委員会は7月12日（金）に連続講座ジェンダー平等と平和第3回をオンラインで行いました。県労連でもジェンダー平等委員会でのよびかけ、3人が参加しました。全国からは100人近い参加がありました。

講師の太田啓子さんから、「政治に女性の参加を得るために」と題して弁護士業務を通して目撃した性差別の実態や、ジェンダーギャップを示す様々な統計が意味することなどをご指摘いただきました。

また、マジョリティ（多数派・過半数のこと、対義語はマイノリティ）にいる側としての自覚を呼び覚ますのは時に苦しいことですが、それを克服するための学びの提起など、励ましも込められた講座でした。

太田さんは「これからの男の子たちへ」をはじめとした著書が数多くあり、もっとお話をお聞きしてみたい講師の方です。



知らないと損！ カリカエで「使えるお金」を増やそう

幹事会で ろうきん からの報告で学ぶ

7月4日(木)に行われた県労連幹事会で、長野県労働金庫営業統括部から報告がありました。

カリカエ試算数 801件
 カリカエ人数 373人
「使えるお金」
 1億7,693万円

使えるお金でできること
 英会話 月9,130円*
 19,378人分
 *総務省統計局小売物価統計調査(動向編長野市)

特に、残価設定ローンについて、具体的な例を示していただきました。どれくらいの違いがあるのか、一目瞭然でした。

物価高で支出が増えるなか、使えるお金をどうやって増やしていくのが大切ですね。知っているのと得をすることが多いのではないのでしょうか。

ろうきんは労働金庫法で定められた福祉金融機関です。働く仲間のために役立つ情報を、組合員のみなさんにも伝えていきましょう。

軽自動車の残価設定ローン 例

総額 2,473,060円

①均等支払金額 70% 1,747,060円
 ②残価金額 30% 726,000円

100% → 70% → 30%

この部分が毎月支払い分

①新しい車に乗り換え
 ②車を返却
 ③一括清算または再クレジット返済

残価設定ローン返済プラン
 ① 5年 60回払い

全額均等返済した場合の試算例
 ①+② 5年 60回払い
 分割手数料3.9% 252,958円
毎月返済金 45,433円

残価設定ローン返済プラン
 分割手数料3.9% *316,557円
 初回返済金 39,417円
2回目以降返済金 34,900円

※国産ディーラー軽自動車の残価設定ローンをもとに試算。残価設定ローンの種類によって手数料率が異なります。

*316,557円 手数料内訳試算
 ①1,747,060円 60回 175,677円
 + (均等払利率) 141,570円
 (5年経過利息) 317,247円⁵
 =

軽自動車の残価設定ローン 例

自動車ディーラー	長野ろうきん
5年後 分割支払いした場合の総費用 残価設定ローン返済プラン 5年返済 60回払い	車天狗 固定金利 会員組合員 年2.1% (Web金利引き下げ適用) 7年返済 84回払い
分割手数料3.9% 316,557円 初回返済金 39,417円 2回目以降返済金 34,900円	毎月返済金 31,683円
726,000円 2年返済 分割 毎月返済金 31,494円 利息分 29,860円	↓
手数料総額346,417円	利息総額188,381円

※国産ディーラー軽自動車の残価設定ローンをもとに試算。残価設定ローンの種類によって手数料率が異なるため、利息差はお客さまごとに異なります。本内容は残価設定ローンの情報提供を目的とした資料となります。

マイプランカリカエ試算・実行状況 (6月~3月)

6割

レイク・プロミス・セゾン・アイフル
 paypayカード・楽天カード等
 金利年12%~18%の申告もあり
 営業店報告より

マイプラン参考金利
 最大引下げ金利 店頭表示金利
 年**2.7%**~年**4.7%**
 後員労働組合ご加入の組合員の方(優待金利あり)
 2024年5月31日現在

図2 マイプラン カリカエ試算

成約率67%

ネットバンク 26% 信託 15%
 八十二銀行 13% 長野銀行 11%
 その他(債権者に記入願います) 15%
 信託・クレジット 50%
 消費性金融 17%

n=116

営業店での取組事例

窓口・職域での提案方法(チェック表)

「かんたん」家計見直しチェック

職域での提案方法(アンケート)

デジタルアンケート
 QRコードから専用フォームに遷移いただきWebから回答いただく

支店にはマネーライフアドバイザー (MLA) がいて、相談にのってくれます。ライフプランを作成し、収支のバランス、見通しをたてましょう。

また、こちらからのリクエストに応じていただき、ろうきん奨学会についても説明がありました。8月5日にろうきん奨学会理事会があり、県労連からも理事が出ています。次回の情報で今回の募集についてお知らせします。